

専門課程シラバス

科目区分	専門基礎分野	単位数・時間数	1単位・30時間	開講時期	1年・前期
授業科目名	病態生理学総論			授業形態	講義
担当教員	西条 寿夫		実務経験	○(医師)	
授業概要	患者の身体に生じている機能的な変化、生理機能の異常を理解し、全身的な生理機能のゆがみを理解する。また、専門分野の知識と専門基礎分野の知識を円滑に統合し、理解・習得する。				
学習目的	生体を俯瞰的に捉え、生理機能の異常と病態との関連や治療の予測ができるようになることが重要である。解剖・生理に基づいた症状・疾患の成り立ちと理解と治療を考察するのに必要な専門知識の習得を目的とする				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主要な疾患の発症原因、発症機序及び経過を説明できる。 2. 主要な疾患の症状や特徴および関連する疾患・症状を説明できる。 3. 主要な疾患への適切な対応や治療の根拠に基づいて提案できる。 				
授業内容	<p>1・2 病態生理学を学ぶための基礎知識</p> <p>3・4 病態生理学を学ぶための基礎知識</p> <p>5・6 皮膚・体温調節のしくみと病態生理</p> <p>7・8 免疫のしくみと病態生理</p> <p>9・10 体液調整のしくみと病態生理</p> <p>11・12 血液のしくみと病態生理</p> <p>13・14 循環のしくみと病態整理</p> <p>15・16 呼吸のしくみと病態生理</p> <p>17・18 呼吸のしくみと病態生理</p> <p>19・20 消化・吸収のしくみと病態生理</p> <p>21・22 腎・泌尿器のしくみと病態生理</p> <p>23・24 内分泌・代謝のしくみと病態生理</p> <p>25・26 生殖のしくみと病態生理</p> <p>27・28 脳・神経、筋肉のはたらきと病態生理</p> <p>29・30 感覚器のはたらきと病態生理</p> <p>終講試験</p>				
評価方法	筆記試験、授業態度で総合的に評価する。				
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進2 病態生理学 第2版第8刷 医学書院 2025				
参考図書 等					
備考					